広告

テレビ番組連動企画
賢者の選択
Leaders

綿半ホールディングス株式会社
代表取締役社長　**野原 勇**
Isamu Nohara

地域や社会に貢献する事業を展開し 変革と成長を繰り返す老舗企業の姿

スーパーセンター事業、建設事業、貿易事業を通じて社会に貢献し続けている綿半ホールディングス株式会社。1598年の創業以来、常に次世代を見据えた変革と成長を繰り返しながら、さらなる飛躍を目指す同社について、代表取締役社長の野原 勇氏が語った。

長野県飯田市で綿屋として創業 時代に呼応する事業へとシフト

時代の変化につれて求められる企業像も大きく変容する。老舗企業が今もなお存在価値を示すためには、時代の変化を的確に捉え、常に変革と成長を繰り返すことが求められる。綿半ホールディングス株式会社も長い社歴の中で、時代に即した事業へとシフトしながら成長を図ってきた企業の1つだ。その歴史は古く、今年は創業から420年を迎える。

「当社は1598年（慶長3年）に、現在の長野県飯田市で綿屋として創業しました。江戸中期には飯田藩御用達商人となり、名字帯刀を許され『野原』姓を名乗るようになりました。その後、綿業の他に酒造にも商いを拡大して庄屋としての地位を確立しました。明治時代には綿業を譲り、金物業へと転換し、鉄鋼、セメント、ガラス、石油事業といった近代産業に参入しました」（野原氏）

社名に冠される「綿半」は、代々の当主が「綿屋半三郎」を襲名してきたことに由来するという。

専門性の高い3事業を通じて 自然との共生を推進する企業

綿半グループは、スーパーセンター事業を展開する株式会社綿半ホームエイド・株式会社綿半フレッシュマーケット・株式会社Jマートと、建設事業の綿半ソリューションズ株式会社、貿易事業を手がける綿半トレーディング株式会社で構成される。グループを束ねる持ち株会社が綿半ホールディングス株式会社だ。

「綿半ホールディングスを中核に、5つの事業会社がそれぞれの事業分野で高い専門性を発揮しながら、3事業を連携させて取り組んでいます」（野原氏）

現在、新たな変革のひとつとして取り組んでいるのが、自然との共生を推進する企業としてGreen Lifeを主軸に、安心して暮らす（Safe Life）、暮らしを楽しむ（Enjoy Life）、元気に暮らす（Platinum Life）の3つのLifeを追求することだ。

「スーパーセンター事業では『自然な彩りを楽しむ暮らし』、建設事業は『環境に優しい安全な暮らし』、貿易事業は『自然の恵みで元気な暮らし』を目指して事業を展開しています」（野原氏）

スーパーセンター事業では、これに加えて「変化を楽しむ暮らし」の提案をグレードアップさせ、新しい綿半ブランドの構築を目指して行く考えだ。具体的には、接客力・提案力を高め、店舗ロイヤリティを向上して地域・趣味の人が集う場へと発展させたり、グループの総合力で「自然」と「健康」をキーワードとしたホームセンターを超える新しい業態を創り出すビジョンを掲げている。

企業理念から実務的なものまで、幅広い内容の研修が行われ、グループ間の交流が図られている

英国王室が主催する「チェルシー・フラワーショー2016」メインとなるショーガーデン部門にて、シルバーメダルを受賞

スーパーセンター事業では、「暮らしに彩り」をテーマに、提案力の高い店舗作りを進めている

キーワードは「人財」 人を育てることが会社の成長へ

これを支えるのは優れた「人財」だ。同社は人財育成を専門にした部署を設け、社内に新規事業研究会や次世代経営者育成研修プログラムを立ち上げるなど、人財の育成や社員教育に力を入れている。

「新規事業研究会は一人ひとりが新しい事業の発想をまとめ、3分間で説明するものです。従来の業務だけでなく、それ以外の分野にも興味を持ち、外から自分の業務を考える力や、自分の考えをまとめてプレゼンする能力が身につきます。次世代経営者育成研修では、次世代経営層としての視座を高める他、同じ綿半グループに所属しながら、あまり面識のなかった社員が研修を通じてグループとしての一体感を醸成するものです。宿泊を伴う年間5回の研修で、各社で培った異なる経験をミックスし、グループに共通する言語を作り上げることで一体感が生まれています。これが変革と成長への大きな力になります」（野原氏）

共通するビジョンを掲げて人財育成、社員教育に取り組むことで、グループ内で競い合うのではなく、グループ全体の総力を向上させることにつながっている。

人や地域、社会に大きく貢献 積極的なCSR活動を長期継続

企業を成長へと導くためには、自社の売り上げを伸ばして企業規模を拡大することだけにとらわれることなく、人や地域、社会に大きく貢献しながら互いに支え合う文化を形成することが求められる。

「当社が生まれ育った長野県には、地域や自然と共存し健康に暮らす文化があります。利益を社会に還元することは、地域に根差す企業として大切な取り組みだと考えています。経済的な理由で進学困難な生徒や学生を支援する奨学金制度や、社会福祉法人を通じて老人ホーム・デイサービスセンターの運営も行っています」（野原氏）

これらの取り組みに共通するのは「見返りを求めないこと」だという。支援を続けることで地域社会が振興し、それが巡って事業の発展にもつながっている。

同社には信頼に対して貢献を持って応えるという経営理念が企業風土として深く根付いている。

「売上を上げることが目標ではありません。お客様に喜んでいただくことを目指せば、結果として売上が上がることにも結びつくのです」（野原氏）

社会の進化のスピードがさらに早まる中で、同社は今後も積極的な変革を図っていく方針だ。その変革から生まれる大きな成長は、地域や社会にさらなる貢献をもたらすことだろう。

綿半ホールディングス株式会社
［本社］〒160-0004　東京都新宿区四谷1-4　綿半野原ビル　［電話］03-3341-2766　［HP］http:www.watahan.co.jp
●設立：1949年　●従業員数：グループ全体で3,445名（2016年9月30日現在、含定時社員）　●代表者：代表取締役社長 野原 勇
●事業内容：スーパーセンター等の運営、建物改修工事・自走式立体駐車場建設・緑化工事等の各種建設工事、天然由来の医薬品・化成品原料の輸入販売、不妊治療薬原薬の製造販売

全国放送　BS12 トゥエルビ　毎週日曜／18:00～18:29
全国放送　NIKKEI CNBC　毎週日曜／12:00～12:29
兵庫・大阪　SUN-TV　毎週月曜／22:00～22:55

ビジネス情報番組 賢者の選択 Leaders
番組映像をWEBで公開中
一人の思いが世界を変える。
http://kenja.jp/
賢者の選択

企画／矢動丸プロジェクト